

授業科目	生活援助技術Ⅲ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1 単位	講義・演習	30 時間
到達目標	1. 適切な食事を助けるための援助技術を理解する。 2. 排泄をたすけるための援助技術を理解する。					講師
						専任教員
授業計画						
1 回	食事援助の基礎知識、栄養状態および摂食能力、食欲や食に対する認識の アセスメント、医療施設で提供される食事の種類と形態					講義
2～ 4 回	食事摂取の介助、援助の基礎知識 援助の実際、実施前の評価 患者への説明 実施方法					講義・DVD 演習 食事介助（学生間）
5 回	摂食・嚥下訓練 援助の基礎知識 援助の実際					講義・DVD
6～ 7 回	援助の実際 非経口的栄養摂取の援助 経管栄養法・経腸栄養 援助の実際 中心静脈栄養法					講義・演習 モデル人形 デモンストレー ション
8 回	排泄の援助に必要な基礎知識 排泄の意義 メカニズム アセスメント					講義
9～ 10 回	自然排尿および排便を促す援助 トイレにおける排泄介助 ポータブルトイレでの排泄介助 床上排泄援助 尿器、便器のあて方					講義 演習
11 回	便秘改善のための援助 腹部マッサージ・温罨法					講義 演習
12～ 14 回	医療上の処置としての援助 導尿：一時的導尿 持続的導尿 浣腸（グリセリン浣腸） 摘便					講義 演習 モデル人形
15 回	まとめ					
評価方法	選択肢問題による筆記試験（80%）、演習の振り返りレポート（20%）を総合して評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント インターメディカ					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては解剖生理を振り返り、必要な技術練習を行い臨むこと					